

2026年1月19日 共同記者説明会



製薬協とAMEDのCo-creationが切り拓く 創薬エコシステムの未来

Co-creation 

日本製薬工業協会 会長

宮柱 明日香

製薬協が取り組む、価値のCo-creation（共創）

創薬エコシステムの強化、その先に未来の「医療のあるべき姿」を創り出すために、
産業内外との連携を行い価値を共創していきます



対話

医療・医薬品をとりまく現状の理解

相互理解

各ステークホルダーの
「できること」を共有

共通課題の解決

課題解決に向けた
ステークホルダー横断でのアクションの推進

2025年5月 会長就任時のアクションプラン

ステークホルダーとの対話を通じた役割の明確化を行い、価値共創に向けた取組を推進

Co-creation（共創）

製薬協の取組

実現したいこと

創薬

製薬業界からアカデミア・AMED
へのノウハウの提供

官民対話を通じた投資・
シーズ誘致の着実な実行

日本特有の
創薬エコシステムの強化

生産

バイオ医薬品、新規モダリティの
生産体制整備の検討

生産における
バイオ人材の育成

主にバイオ医薬品を
対象とした生産機能誘致

制度

製薬内外ステークホルダーとの
財源に関する共通課題解決

薬価に反映すべき
革新的新薬の価値の議論開始

予見性改善と医薬品の価値
に応じた薬価制度

国際的知財保護・
知財施策の推進

審査報告書の充実
ASEAN諸国とのリライアンスパス

グローバルの規制調和

医療DX

主幹組織立上げとステーク
ホルダー横断の議論の実施

医療DXの全体構想・
実行計画の策定

新しい財源再配分モデルの
導入方針の策定

明確な
役割分担



製薬協および加盟企業によるエコシステム強化に向けた既存の取組み



アカデミアとの連携

- 産学連携事業、コンソーシアムへの参画
- 各社による共同研究
- オープンイノベーション・インキュベーションプログラムの提供



AMED・各府省庁との連携

- アドバイザー派遣
- 課題評価委員派遣
- 事業への参画・利活用



インキュベーション、実用化へ向けた取組

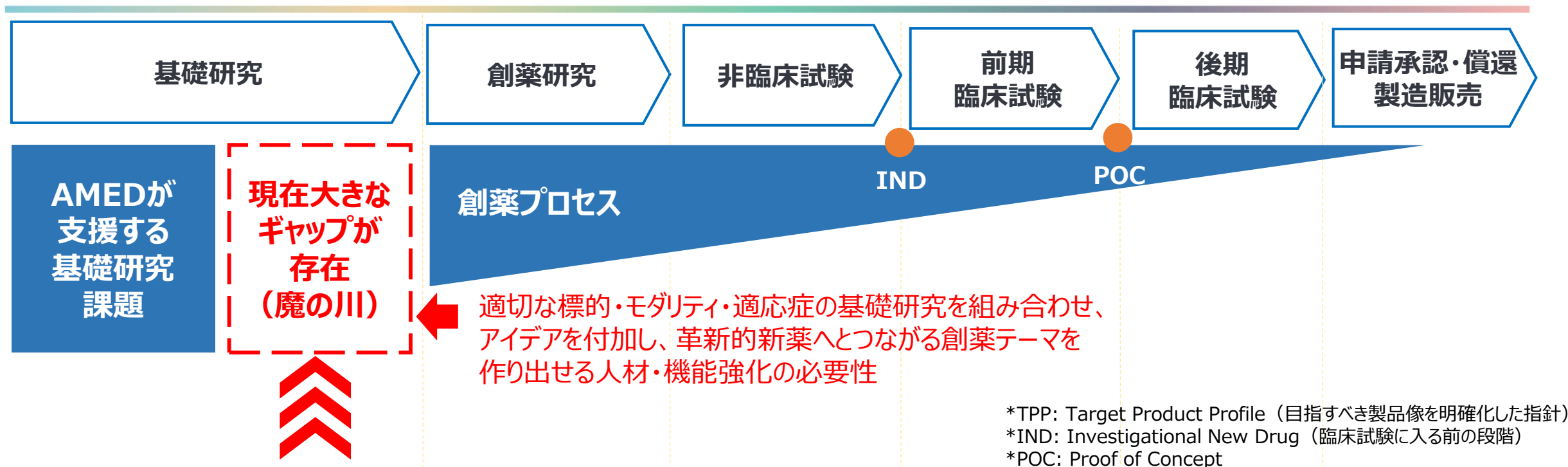
- 合併や各社CVCによるインキュベーション
- カーブアウト、スピンアウト企業等の輩出



創薬環境・基盤強化

- オープンイノベーション・インキュベーション施設の開設
- 人材育成（研究講座の設置、講義等の教育プログラムへの協力）

研究からグローバル市場での上市までの経験で産業界が蓄積してきたノウハウを活用し、AMEDの課題の解決に取り組む



製薬企業が“研究・開発～上市”の一連の活動から蓄積してきた経験・ナレッジとAMEDの連携で魔の川を越え、革新的新薬を生み出す

製薬企業の創薬研究

基礎研究を組み合わせ
創薬研究へと仕立てる

TPPを策定し、その目標達成に向け、必要な
データ取得の研究計画、ならびに知財戦略立案

アンメット・メディカル・ニーズに基づいた研究・開発を
進めるケイパビリティ

臨床開発、薬事申請、販売活動による知見の獲得

橋渡し研究、臨床開発の知見
事業採算性の評価

グローバル市場のトレンド

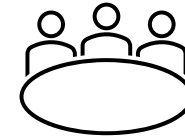
創薬経験豊富な専門人材がAMEDへ出向： 創薬の原石を見極め、実用化・事業化に向けた戦略的な方向性を示す



豊富な経験を持つ企業研究者が出向

- ✓ 製薬企業における創薬プロジェクトの立案・採択経験
- ✓ 創薬プロジェクトのリード経験
- ✓ 高度な創薬知識

両者の対応チームが、定期的に進捗を確認し
方針を協議する体制を構築



革新的新薬創製に
特化した出向

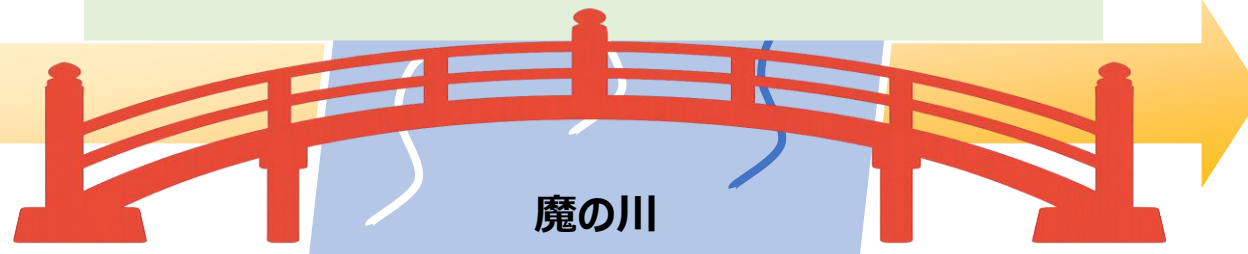


AND-E (AMED IND ENGINE)

- ・ 事業化・社会実装の観点で創薬可能性評価
- ・ TPPを意識した仮想研究シナリオ設計
- ・ IND到達を見据えた開発ロードマップ作成

産業的視点をもった創薬研究が
定常的にAMEDで行われる状態と
なることを期待

AMED支援課題
(基礎・萌芽的研究)

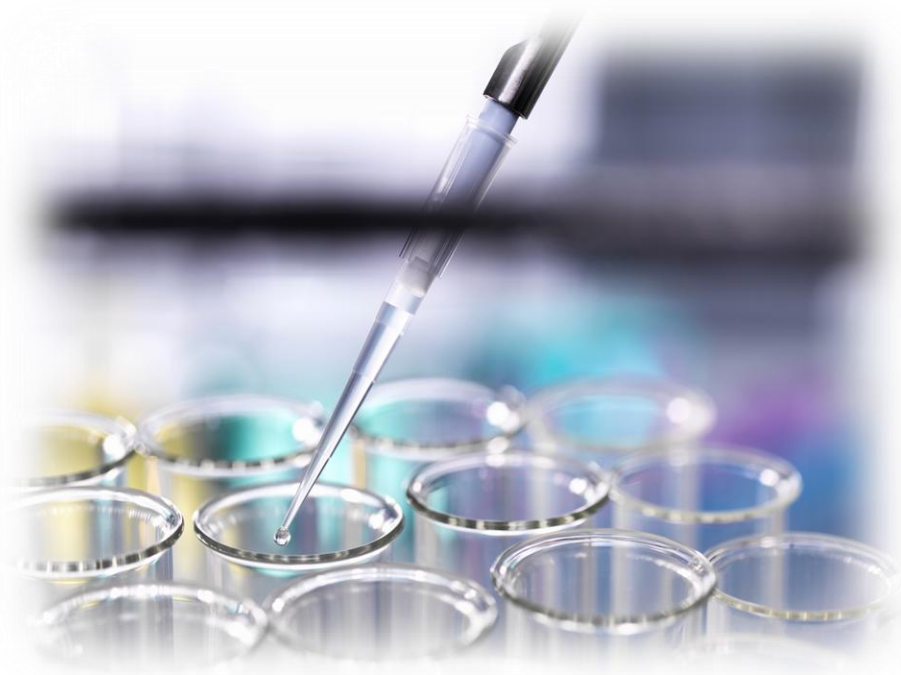


魔の川

創薬展開

- ・ スタートアップ設立
- ・ 製薬企業への導出
- ・ 共同研究への展開

日本発の革新的新薬創製につながる 創薬科学研究の開始



**産業界のノウハウ活用場の創出・
エコシステム全体での人材交流促進**